

【上位関連計画】

●三好町まちづくり基本計画

境川を軸とした緑の基幹ネットワークにおいて、緑の連続性を確保するとともに、親水性豊かな緑地空間づくりを進める。

●境川流域河川環境管理基本計画

当該地区の河川は、高水敷を持たないものも多く、護岸や水際部分で自然回復、再生を第一義に考え、水際の再自然化などを推進し、魚類を始めとする水生生物の生息の場を確保する。

●境川地域河川空間管理計画

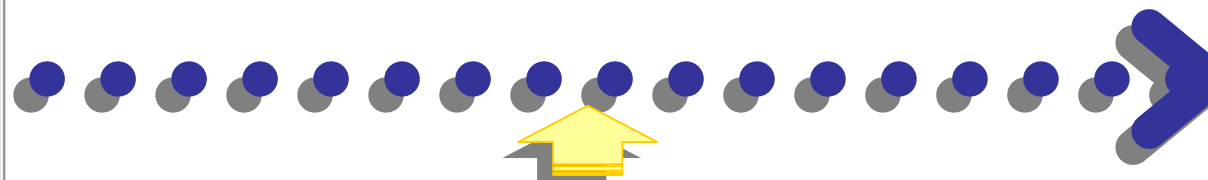
植樹可能な範囲で、河川沿いで郷土樹種による植樹を行い、河川の自然環境の向上に努める。

●MYエコプラン・みよし

地域で取り組む河川の環境美化活動を啓発、支援する。

【近年の緑地空間・河川空間等に求められるニーズ等】

- 社会情勢
 - ・少子・高齢化・情報化・循環型の社会の到来、総合教育制度
- レクリエーション動向
 - ・家族・憩いを中心とした静的な志向
 - ・趣味を楽しむ、自然に親しむ時間を要求
 - ・散策・ジョギング等の健康増進に貢献する施設を要求
 - ・ピオトープや自然散策路等の自然とふれあう施設を要求
- 自然環境への関心の高まり
 - ・多様な環境教育、環境問題の顕在化（自然環境保全の高まり）
- 長寿・福祉型社会への対応
 - ・ユニバーサルデザインの導入推進
 - ・利用者の多様性に対応可能な緑地整備の推進
- その他
 - ・住民参加（計画・管理運営等）、ボランティア活動が広く認知



【境川緑地基本計画ワークショップ】

境川緑地基本計画策定に向けたワークショップ（全6回の内5回開催済）を開催する。

【アンケート結果の概要】

境川の緑地整備に向け、町民および小学生の要望・意見等を把握し計画に反映することを目的に、アンケート調査を実施。

●調査結果の概要（町民）

利用方法：「散歩・散策」が最も多く、次に「花や樹木の観賞・自然観察」となっている。

確認された動・植物：（動物）約80種（約64%は鳥類と魚類）、（植物）約70種
 ※多くの動・植物が確認されていることから、境川には豊かな自然や動・植物が生息できる良好な環境が残っていると考えられる。

整備に関すること：「散歩・休息ができる場所のある緑地」といった回答が最も多く、その際、「木陰」「散策路」「ベンチ」があったら良いといった回答が多かった。

その他：水質が悪い。雑草の多さが気になる。

●調査結果の概要（小学生）

利用方法：「散歩」が最も多く、次に「総合学習・学校行事」となっている。

確認された動・植物：（動物）約40種、（植物）約20種
 ※鳥類や昆虫類、植物は上流部で多く確認されている。

整備に関すること：「公園と川であそべる場所」にしたいという回答が最も多く、その際、「水にさわることができる場所」「ベンチ」「木陰」があったら良いといった回答が多かった。

■ 計画方針の設定

【計画のテーマ】

「水と緑にふれあえる水辺空間の創出」

【計画方針】

共通

- 川沿いに楽しく安心して歩ける散策路を形成し、「境川」の魅力を高める。

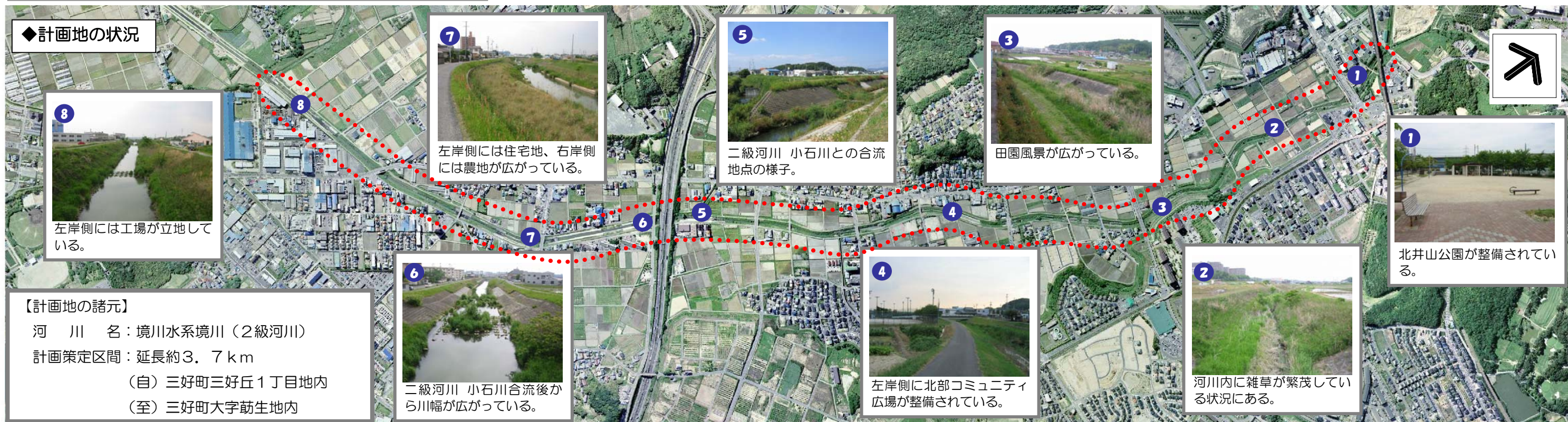
上流部（自然を保全する）

- 豊かな自然を保全・育成し、生態系に配慮した水辺空間の整備を図る。
- 地域住民、行政を含めた町ぐるみのイベント（下草刈り等）による良好な水辺空間づくりを推進する

中・下流部（自然を活用する）

- コミュニケーションの場としての親水性を考慮した拠点整備を図る。

◆計画地の状況



左岸側には工場が立地している。



左岸側には住宅地、右岸側には農地が広がっている。



二級河川 小石川との合流地点の様子。



田園風景が広がっている。



二級河川 小石川合流後から川幅が広がっている。



左岸側に北部コミュニティ広場が整備されている。



河川内に雑草が繁茂している状況にある。



北井山公園が整備されている。

【計画地の諸元】

河川名：境川水系境川（二級河川）

計画策定区間：延長約3.7km

（自）三好町三好丘1丁目地内

（至）三好町大字筋生地内